

バイオ技術とバイオ産業

みなさんはバイオ技術で何ができるかご存知ですか。バイオ技術とは、一言で言えば、生物の持つ働きを上手に利用し、私たちの生活に役立たせる技術で、昔ながらの発酵や品種改良から、現代の細胞や遺伝子を操作する最先端技術まで、さまざまです。その応用範囲は幅広く、花、野菜、穀物、果物、魚、畜肉、食品、酒、化粧品、洗剤などのほか、薬などの医療分野、ごみ処理、地球環境といった環境分野や、DNA解析、バイオセンサーといったIT分野などに利用されています。

現在、日本各地で、バイオ関連の企業や研究所、大学などの集積が進み、近畿でも神戸、大阪、京都などで先進的に取り組まれています。同じバイオ関連でも地域によって特色があり、例えば、神戸なら再生医療、京都ならバイオ関連機器といったように特色とする分野が異なります。長浜においても、関西におけるバイオクラスターの重要な拠点として、地域の特性を活かした農業や環境分野のほか、バイオ関連の分析機器の開発が特色となりつつあります。

それでは、農業や環境、分析機器の分野では、どんなことができるのでしょうか。

まず、農業の分野では、効率よく栄養価の高い農作物を栽培するための改良や、工業製品の原料に適した植物を開発することなど、また環境の分野では、今までは廃棄されていた魚や水草などから、有効な成分を取り出し健康食品に利用することや、微生物の分解能力を利用して、産業廃棄物の減量につなげることができます。バイオ関連の分析機器については、例えば、糖尿病を管理するための血糖を検出するセンサーを開発したり、病気の原因となる細胞のたんぱく質を構造解析する機器を開発することで、画期的な新薬をつくることができたりします。

いずれも、私たちの生活に役立つもので、そのため、成功すれば大きな需要が見込めます。その意味でも、バイオ産業は、ますます成長が期待できる分野といえます。



新産業創出へ夢拓く 長浜バイオインキュベーション・シヨクンセンター開所

インキュベーションセンター（手前）と長浜サイエンスパーク

この4月、長浜サイエンスパーク内（田村町）に長浜バイオインキュベーションセンターがオープンしました。この施設は、県が認定する「長浜バイオ・ライフサイエンス特区」事業の一環として、バイオ関連分野の創業や事業化を支援するため、市が整備したものです。



4月12日に行われた開所式

現在、市では、平成15年に開学した長浜バイオ大学の知的資源と地元産業とが連携して、長浜サイエンスパーク一帯に、バイオ関連企業を集積することをめざしており、センターのオープンは、新しい産業の創出・振興のきっかけになるものと期待しています。

センターの内容

このセンターは、バイオ関連分野の創業や事業の成長を図ろうとする企業や個人を支援することを目的としています。施設には、17室の研究室をはじめ純水製造装置、製氷機、分離用超遠心機、コピー機、給湯設備を備えた共同利用室、経営支援室、商談室のほか、情報コーナーや交流スペースなど、ビジネスの必要場面に対応した設備を整えています。